

■三井高棟 財閥オーナー。日本の近代化への歩みとともに三井家の制度を改革、三井が最も繁栄した時代に生きた。

みついたかみね

蕃書調所・・・1857＝ 京都油小路邸で、北家8代高福の13子八男に生まれる。幼名は五十之助
三井越後屋呉服店の三都本店御用名前で、後に三井家の代表名となる“八郎右衛門”としては第15代。

桜田門外変・1860＝ 3歳：

第9代三井家当主として家督を継ぐ高朗には子がいなかったため、
8月18日政変 1863＝ 6歳：高福の長男(長兄)高朗の順養子となり、長四郎と改名。

なぜ高朗の養子に選ばれたのかは不明であるが、代々の三井家当主がそうであるように、

薩長同盟・・・1866＝ 9歳： 、“高”の一字を含む“高棟”の名と花押が決定して、総領家第10代当主としての座が約束され、
大政奉還・・・1867＝10歳： 京都の本店に出勤、将来三井を率いていくための修業の第一歩となる。
明治維新・・・1868＝11歳：

学問のすすめ1872＝15歳： 井上馨や渋沢栄一のすすめで、海外への見聞を広めると同時に銀行業勉強のため、渡米。
明治6年政変 1873＝16歳： この年、第一国立銀行が発足して初代頭取に渋沢栄一が就いている。

佐賀の乱・・・1874＝17歳： 帰国すると、

初の民間工場1875＝18歳：

三つの反乱・1876＝19歳： 発足したばかりの三井銀行東京本店に入門。三井物産も設立され、近代における三井財閥発展の足場が固
め られた年でもあった。この年、益田孝が中外物価新報を創刊、中外商業新聞を経て日本経済新聞となる。

明治14年政変1881＝24歳：

この間、加賀100万石前田家の分家の富山当主前田利聲の娘と結婚。

秩父事件・・・1884＝27歳： この年、團琢磨が三池鉱山局技師となる。

内閣発足・・・1885＝28歳： 父高福が死去。実兄の高朗から家督を相続し、総領家第10代当主となり、第15代八郎右衛門を襲名するが
、いきなり三井各事業のトップに君臨したわけではなく、

国民之友始・1887＝30歳： 2年後の昇進でも、三井銀行の役職は精算課長に過ぎなかった。

初の対条約1888＝31歳： この年、三池鉱山が三井に払い下げられ、團琢磨は三池炭鉱事務長に就任。

帝国憲法発布1889＝32歳： 長男高公が誕生。

帝国議会始・1890＝33歳： 維新後の懸案であった時代に合わせた家憲制定の動きを本格的にスタートし、

郡司千島探検1893＝36歳： *三井組総長、三井家同族会議長に就任。三井組が三井元方と改称し、総長に就任。

日清戦争始・1894＝37歳： この年、團琢磨が三井鉱山合名会社専務理事に就任。

白馬会・・・1896＝39歳： 男爵を授けられる。三井本館起工式が行われる。

多趣味で、弓、書、絵画、能楽、茶の湯、陶芸、建築、築庭、印章、写真と多岐にわたり、絵画は円山応挙
に私淑し、円山派に絵の手ほどきを受けるなど、自らの書や絵画など多くの作品を残す。なかでも常に強い関
心を示していたのが建築で、生涯に所有した建物は、東京今井町本邸のほかに、京都では油小路邸、木屋町
別邸、旧後藤家岩栖院別邸、別荘として箱根小涌谷別荘、拝島別荘があり、さらに、
子規句歌革新1898＝41歳： 神奈川県大磯に38,000坪という広大な敷地を購入し、別荘城山荘を建築。建築資材や内部の家具・調度品な
どに、奈良薬師寺をはじめとする全国の社寺から集めた古材を用い、その再生を図っている。

ピアノ/国産化・1900＝43歳： *三井家憲を完成し制定。

教科書疑獄・1902＝45歳：

日露戦争終・1905＝48歳：

今井町本邸は、皇室を別にすれば、東京で最も高級な園遊会・晩餐会の舞台でもあり、毎年正月には観世流
の傑出した役者が招かれて舞い初めをしている。

アヲヲ創刊・1908＝51歳： 織田信長の実弟で千利休の弟子であった織田有楽斎が京都に創建した茶室{如庵}が売却されると、早速購入
して、今井町邸内に移築し保存。

伊藤博文暗殺1909＝52歳： 三井銀行や旧三井物産、三井鉱山など直系会社を所有する持株会社で、直系会社の資本金は三井11家が全額
出資する無限責任制の、三井合名会社を設立、業務執行社員社長となり、三井関連事業のトップとなる。

韓国併合・・・1910＝53歳： 島津氏の日向佐土原藩の江戸藩邸跡に、ジョサイア・コンドルに三井倶楽部の設計を依頼。益田孝の配慮
で、コンツェルンの実情と運営を諸外国に学ぶ理由で、團琢磨を伴って欧米を視察。この長旅で團の人柄と
能力を知り、密接な関係が築かれ、

大逆事件判決1911＝54歳： 團琢磨が三井鉱山株式会社会長、

明治天皇没・1912＝55歳：

大正政変・・・1913＝56歳： (綱町)三井倶楽部が竣工し、迎賓館として使用。以後、多くの外国人名士が来訪する。

第一次大戦始1914＝57歳： シーメンス事件が、三井物産も絡む軍艦{金剛}受注の贈賄事件に波及したため、物産を統括する三井合名に
も改革が求められ、それまで採用していた顧問制を廃止して、理事長制を実施し、團琢磨が就任。理事長
制の導入で統括体制はより強固になり、高棟・團の体制下で三井財閥はさらなる発展を続け、

大暴落・・・1920＝63歳： この前後に*頂点に達する。

原敬首相暗殺1921＝64歳：

関東大震災・1923＝66歳： イギリス皇太子来日の際には、外務省の依頼で、その接待を取仕切る光栄に浴し、大震災に遭遇すると、
会社の建物の多くが被災するなか、全社員一丸となって財産を保全しただけでなく、三井救援委員会を立ち
上げ、今井町本邸の敷地の一部開放はじめ、物資・資金・運搬など様々な面から、市民の救済に尽くす。

円本時代始・1926＝69歳： 三井銀行創立50周年を記念して、三井合名の本社ビルに着工、

世界恐慌・・・1929＝72歳： 次々と新興財閥が登場し巨大になって行くなかでも、圧倒的トップの地位を守り続けるが、

簡素ながら威厳のあるビルが竣工し、以後、三井本館と呼ばれる。

長引く不況を背景に政財界の重要人物がテロリストに狙われる事件が相次ぎ、

満州事変・・・1931＝74歳：

五一五事件・1932＝75歳：

国際連盟脱退1933＝76歳： 團琢磨が血盟団員の凶弾に倒れる。團を失うと、それまでの業務執行社員制度を廃し、副社長制を導入す
るなど組織改革を行った上で、

*三井同族会議長、三井合名会社社長を辞任、継嗣の高公に当主の座を譲って、隠居。

神奈川大磯の北家の別荘城山荘に居を移し、悠々自適の生活、茶の湯に没頭し、日々稽古に励む。

二二六事件・1936＝79歳： この年、{如庵}が国宝に指定され、

日中戦争始・1937＝80歳：

健保+総動員 1938＝81歳： この年、{如庵}の城山荘への移築が完了。

敗戦・・・1945＝88歳： 空襲で今井町邸が全焼。敗戦後、GHQによる財閥解体命令に心を痛め、城山荘で静かに過ごすうち、

極東裁判決・1948＝91歳： 脳溢血で倒れ、没した。

インターネット三井広報委員会ホームページ、ジョン=G=ロバーツ「三井」、